

## 7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。平成25年度は、地域医療者教育および教育IR活動の推進を目的に、教育センター内の部門組織改編（平成25年9月1日付）を次のように行った。

- (1) 医師キャリアサポート部門
  - ① 医学教育研究室
  - ② 教育開発室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育IR部門

平成25年度教育センターの事業活動は、大学の基本方針、運営計画に基づき下記事業を実施した。

教育センター長 福島 統 教授

### 1) 公開講座

#### (1) 大学主催公開講座

教育センターが公開講座推進委員会を主管して、大学主催（大学および4附属病院が企画・実施）の公開講座を取り纏めた。平成25年度は全機関で35回開催した。本公開講座は一般市民および地域医療者を対象とし、大学の社会貢献と広報活動の充実に関する事業として、公開講座の継続的な推進を図るため、各機関による主体的な運営形態としている。平成25年度の開催内容は下記のとおり。

- ・附属病院：計9回（新みんなの健康教室（6回）、市民公開講座（3回））
- ・慈恵医大葛飾医療センター公開セミナー 3回
- ・慈恵医大第三病院公開健康セミナー 4回
- ・柏病院市民公開講座 2回
- ・新橋健診センター公開講座 10回
- ・大学：計7回（看護学科公開講座2回、地域医療者向け公開講座4回（教育センター主管）ひらめき☆ときめきサイエンス1回（教育センター主管））

#### (2) 地域医療者対象公開講座

教育センターが企画・実施する地域医療者対象の大学主催公開講座を4回開催し、参加者総数は47名であった。対象は本学の学生教育にご協力いただいている学外実習施設の看護師等とした。開催場所はシミュレーション教育施設（7C）で、内容は次の通り。

- ・心音セミナー 2回（4月13日、10月12日）
  - 講義①心臓の基礎知識 福島 統 教授
  - 講義②心音の基礎知識 岡崎 史子 講師
  - 実習①シミュレータ「イチロー」を使っての心音聴取
- ・呼吸音セミナー 2回（9月28日、2月22日）
  - 講義①呼吸器系の基礎知識 福島 統 教授
  - 講義②胸部診察・呼吸系について 岡崎 史子 講師
  - 実習①シミュレータ「ラング」を使っての呼吸音聴取

### 2) 教育に関する公的補助金にかかる事業

#### A. 平成24年度文部科学省「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」事業

内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科）宇都宮一典教授が事業推進責任者となり、取組「参

加型臨床実習のための系統的教育の構築」を推進した。

(1) カリキュラム検討の実施

(2) ログブックの開発

(3) 学生へのPHS配付

(4) 英国キングス大学との連携によるOSCEの調査

姉妹校であるとともにグローバル化に対応した臨床実習教育を実践している英国キングス大学に、本学教育センター尾上尚志教授、中村真理子准教授、救急医学講座大谷圭准教授の3名がOSCE視察を行った。

(5) 外部評価

キングス大学医学部からHead of Clinical AssessmentのTushar Vince先生を招聘し、平成26年2月18日～2月22日に本補助事業の外部評価を実施した。

(6) 第55回医学教育セミナー

キングス大学医学部Head of Clinical AssessmentのTushar Vince先生を講師として、平成26年2月20日（木）に「キングス大学のOSCE」をテーマに第55回医学教育セミナーを実施した。学生・教職員40名が参加した。

B. 平成25年度文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成」事業

内科学講座（総合診療内科）大野岩男教授が事業推進責任者となり、取組「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発—地域における臨床研究の推進を目指して—」を申請し、採択を受けた。事業期間は平成25年度～29年度。本補助事業の主な活動は次の通り。

(1) 教育プログラムの開発

次の8つの教育プログラムの開発を行った。

① 高齢者医療体験実習（医学科3年次）

② へき地医療プログラム（初期臨床研修 2年目研修医）

③ 総合診療コース（レジデント）

④ 大学院医学研究科博士課程授業細目「地域医療プライマリケア医学」

⑤ 授業細目「地域医療プライマリケア医学」・レジデントのコンバインドコース

⑥ EBMと臨床研究セミナー（大学院インテンシブコース）

⑦ 総合診療・家庭医療ブラッシュアッププログラム（医師インテンシブコース）

⑧ 復職支援スタートアッププログラム（医師インテンシブコース）

(2) 海外視察

- ・プログラム開発のため、松島雅人教授、他2名が平成25年11月28日～12月3日にシンガポールを訪問し、現地の医療システムや家庭医療Diplomaプログラムについて視察を行った。
- ・プログラム開発のため、松島雅人教授、他3名が平成26年2月10日～15日にキングス大学を訪問し、英国のプライマリケア教育について視察を行った。

(3) 外部評価

- ・キングス大学からJanice Rymer教授とRoger Jones教授を招聘し、平成26年1月27日～1月31日の5日間にわたって外部評価を実施した。
- ・世界医学教育連盟（WFME）の会長であるStefan Lindgren教授を招聘し、平成26年2月19日に外部評価を受けた。
- ・琉球大学植田真一郎教授による外部評価を、平成26年3月15日に受けた。

(4) 事業活動の概要

- ・総合診療GP事業の推進のため、学長直轄の「総合診療GP推進委員会」を組織した。その委員会の下部組織として「総合診療GP4病院会議」を設置した。これらの委員会運営を行い、事業推進を図った。
- ・大学院医学研究科博士課程において授業細目「地域医療プライマリケア医学」（松島雅人教授）の設置を支援した。
- ・平成25年度臨床研修医1年目を対象に、川村哲也教授による平成26年度に実施する地域医

療（へき地医療）研修の説明会を平成25年10月30日に開催した。各地域医療施設の指導医を招聘し、施設紹介や研修内容の説明を受けた。

- ・筑波大学主催「リサーチマインドを持った総合診療医の養成合同公開フォーラム」が平成26年1月31日に開催され、選定15大学による事業紹介の中で、大野岩男教授が総合診療GPの概要説明を行った。
- ・琉球大学と合同シンポジウム、ワークショップを平成26年3月14日～16日に、ティーチングトレーニングを目的に開催し40名が参加した。

#### C. 平成24年度文部科学省「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業

東京医科歯科大学を代表校とし千葉大学、東京大学、新潟大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学の6大学が連携して、取組「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は福島統教授が担当した。事業期間は平成24年度～28年度。本補助事業の主な活動は次の通り。

##### (1) 海外視察

- ・2013年10月31日～11月7日に米国 Association of American Medical Colleges 2013年次大会に中村真理子准教授が参加した。日本で認証システムを構築する上で有用となる Liaison Committee on Medical Education の認証評価に関わる情報収集を行った。

##### (2) 自己点検評価報告書の作成とデータベース化

- ・世界医学教育連盟（WFME）グローバルスタンダード準拠の医学教育分野別評価基準日本版をもとに2013年度自己点検評価報告書および別添資料集を作成した。これらにかかる資料のデータベース化を行った。

#### D. 平成25年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業

福島統教授が事業推進責任者となり、「キャンパス間カンファレンスシステムの構築」を申請し、採択を受けた。事業期間は平成25年度の単年度。本事業は医学科臨床実習教育プログラムの開発、看護学科臨床実習の質向上、大学院臨床研究の推進などについて4キャンパス間で医学科・看護学科学学生、大学院生、教員がセミナー、カンファレンス、FDなどの教育活動を行うテレビ会議システム整備を行った。

#### E. 平成24年度私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費）事業

本補助金は、平成24年度補正予算分として文部科学省より通知があり、教育センター予算内の医療安全シミュレーション予算として計上したSimMan 3Gシステムおよびそれに付随する専用ミラールーム設置工事を教育装置として本事業に充て申請を行った結果、選定された。本装置は、平成25年12月19日に設置が完了し、卒前・卒後を含めた患者安全シミュレーション教育に使用される。

#### F. 経常費補助金「情報の公表」

教育補助金検討委員会が主導し、教育情報に係る項目のデータを、関係部署にデータ提供のご協力を得て、平成25年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。これに伴い経常費補助金「情報の公表」の申請を行った。事業期間は平成25年度の単年度。

### 3) 看護学教育プログラム

看護学教育部門(看護キャリアサポートセンター)の奈良京子部門長を担当として、以下の教育プログラムを実施した。

#### (1) エデュケーションナース研修

- ・開催趣旨：新人看護師やプリセプターに対して意図的に適切な指導を行うために必要な知識・技術・態度を修得し、教育担当者としての役割を担う看護師の育成をねらいとした。
- ・開催期間：平成25年8月6日（火）～11月22日（金）の内20日間、受講者数：54名

#### (2) 看護監督者研修

- ・開催趣旨：中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を修得し、大学病院・看護部の理念の基、担当部署の看護管理過程が展開できる人材を育

- 成することをねらいとした。
- ・開催期間：平成25年11月28日（木）～平成26年2月22日（土）の内11日間、受講者数：29名
- (3) 看護管理者研修
- ・開催趣旨：臨床および教育の看護管理者が一堂に集まり、各々の立場から本学の看護の現状と課題について情報交換を行い、【目指す慈恵の看護】を共有し、連携強化を目指した。
  - ・開催期間：平成26年2月1日（土）～2月2日（日）1泊2日、受講者数：25名
- 4) シミュレーション教育支援
- シミュレーション教育施設委員会を主管し、西新橋校、国領校、葛飾医療センターの各々に下部組織の委員会を配置し、教育センターは大学全体として、各機関が連携するシミュレーション教育施設の管理運営を行った。
- 各機関の利用状況は、西新橋校502件(昨年対比24件増)、国領校70件(昨年対比69件増)、葛飾医療センター148件(昨年対比61件増)であった。
- 5) ICT活用教育支援
- (1) eラーニング
- 卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間23コース279回であった。内訳は次の通り。
- ・医学科学生 6コース、29回（3年次症候学演習、4年次基本的臨床技能実習など）
  - ・看護学科学学生 7コース、23回（2年次情報科学、3・4年次在宅看護学実習など）
  - ・看護専門学校学生 2コース、4回（1年次情報リテラシーなど）
  - ・大学院博士課程 2コース、53回（疫学臨床研究、生物統計学など）
  - ・卒後教育（研修医、看護師、地域医療者など） 6コース、170回（鏡視下手術トレーニングなど）
- (2) コンピュータ試験の支援
- 医学教育研究室木村直史教授を責任者として、医学科5年生「総括試験」、医学科2年生「総合試験」、など医学科で8回、看護学科科目横断試験で1回、計9回のコンピュータ試験実施の支援を行った。
- (3) クリッカーを活用した授業等の支援
- クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生、大学院の授業や医師、看護師の勉強会等で計16回利用され、利用者数は計1619名であった。
- 6) 地域医療者教育プログラム
- 地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島雅人教授(臨床疫学研究室・教育センター)を責任者として実施した。
- 平成23年度生・受講生14名、平成24年度生・受講生24名、平成25年度生・受講生24名を受講生として、講義(eラーニング)を6コース、ワークショップを5回実施した。
- 7) 市民ボランティア「あけぼの会」の設置と授業参加
- 平成24年度より、学生、医師、看護師等への本学らしい医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業(演習、実習)で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としている。平成25年度の活動は、昨年参加した国領校キャンパスでの医学科・看護学科共習授業「医療総論演習」のグループ討論に加え、西新橋校での医学科3年、4年次の医学総論演習の授業への参加・見学を行った。あけぼの会は、原則、職員OBおよび現職員で

構成しており、2ヶ月に1回のペースで例会(勉強会)を開催している。なお、平成26年3月31日現在の会員数は、25名である。

(1) 例会(勉強会)

第1回例会 平成25年4月13日(土) 10:30~12:00

第2回例会 平成25年6月8日(土) 10:30~12:00

第3回例会 平成25年9月28日(土) 10:30~12:00

第4回例会 平成25年10月26日(土) 10:00~12:00

第5回例会 平成26年2月22日(土) 10:30~12:00

(2) 授業への参加・見学

医学総論Ⅲ演習(西新橋校)医学科4年 6月7日(金) 14:40~16:10 ※見学

医学総論Ⅳ演習(西新橋校)医学科3年 6月10日(月) 13:40~15:00

医療総論Ⅰ演習(国領校キャンパス)

医学科・看護学科1年 11月13日(火) 13:00~14:30

医療総論Ⅰ演習(国領校キャンパス)

医学科・看護学科1年 11月27日(火) 13:00~14:30

8) テレビ会議システムの利用支援

4機関合同の教育・研修活動の支援として、テレビ会議運営委員会を主管し、4機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間12回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は学長就任式、4病院合同セーフティーマネジメント、成医会、災害対策会議などであった。

9) アウトリーチ活動推進委員会

大学の社会貢献の一環として、研究成果の小中高校への還元を主な活動としたアウトリーチ活動推進委員会を設置し(平成25年11月1日付)、活動を開始した。